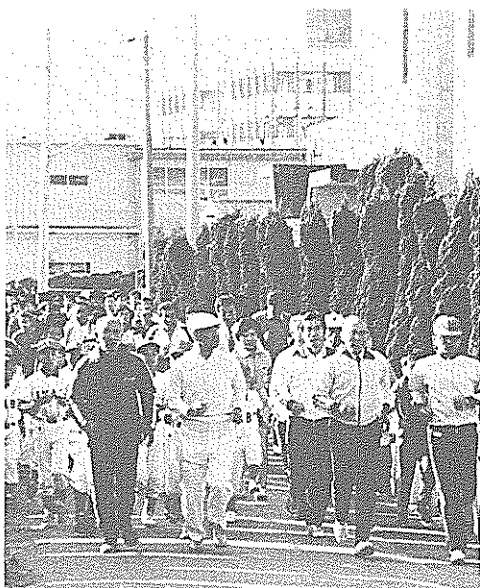




大きな気合で、元気に練習する子どもたち



健康を祈願して、元気に走り初め

二百人が走り初め

御用始めの四日、健康を願う体
育始めの行事「走り初め」が行わ
れました。午前九時半、市役所玄関前には

小笠原市長をはじめ市職員、ユニ
ホーム姿の少年野球チームや市内
の小学生、二百人が集まり、準備
体操をしてスタート。まず、日吉
神社で南州市の飛躍発展を祈願し
、後免商店街をめぐって、電車通りを
市役所まで元気に走り通しました。
今年の干支は亥。一般に猪突猛
進などといわれる猪ですが、実際
は曲がりもすれば急停止もするそ
うで、ハンターに言わせると、と
ても賢い動物だそうです。
昭和五十八年は、市民生活もさ
らに厳しくなるような兆しです。
私たちも賢い猪を見習い、あると
きは突き進み、あるときは立ち停
まって考える余裕をもって、暮ら
してゆきたいものです。

消防出初め式

災害から市民を守るため活躍し
ている市消防本部と市消防団(山
下正雄団長)の出初め式が六日、
葛ヶ池中学校北側グラウンドで行わ
れました。
この日は、各地区二十二分団か
ら総勢三百三十人が参加し、小笠
原市長らが人員・服装点検をした
後、大篠分団による模範操法が行
われ、防災活動に努める気持ちを
新たにしました。



市長らが、各分団を点検

'83— 新春スケッチ

元旦に寒げいこ

年の初めの一日、恒例になって
いる市空手道連盟(土居菊雄会長)
の寒げいこが、物部川河川敷で行
われました。この寒げいこは、連
盟が発足当初から、年頭行事とし
て長く続けられています。
この日は、日ごろ練習に励んで
いる子どもたちや黒帯の青年など
六十人が集まり、約二時間の基本
練習に汗を流しました。見守る子
どもたちのお母さんは寒さで震え

農業青年らが交歓会

地びき網やフォークダンスで楽しむ



和やかにゲームを楽しむ青年たち

一般に農家への嫁入りは敬遠し
がちな面があり、また農業青年に
とっては女性との交流の場が少な
い———こういう中で後継者の育成
のために、農業の良さや農業青年
の生き方をもっと知ってもらおう
と十二月十二日(土)・長岡郡下、
南州市の農業青年と独身女性の交
歓会が、市内の観光コースで行わ
れました。
参加者は予想以上に多く約七十
五人で、まず午前中は浜改田海岸

で地びき網を引き、大漁のドロメ
で昼食、その後フォークダンスや
ゲームを楽しみ、積極的に話しか
ける男性もいました。午後は西島
園芸団地で、メロンやスイカを賞
味しながら語り合い、一日楽し
い時を過ごし女性との交流を深め
ました。

アンケートの結果では、実施時
期や内容の改善など考えて欲しい
という意見もありましたが、次回
も参加したいという声がとても多
く、このような交流の機会がもつ
と多く持たれるよう望まれていま
す。

ポイ捨てカンを回収

岩村老人クラブ



空きカンを持つ樋口さん

街の美化に少し
でも役立てたら、
と岩村老人クラブ
(会員四十九人)
では昨年四月から、
道端の空きカン集
めをしています。
これは、同クラ
ブの会長を務める樋口さんの提案
で始めたもので、これまでに回収
したカンは、ざっと五千個。時に
は物部川の川原まで出かけ、不心
得者が捨てたカンを見つけては拾
い集めるそうで、「ドライバーの
モラルの低さに驚かされる」と話
していました。

菜園の冬の管理と

2月まき野菜

(一)防寒対策

これからは一段と寒さが厳しく
なりますので、寒さに弱い野菜は、
防寒対策を行って保護することが
大切です。畑の周囲あるいは畝間
には、ささ竹、こもや寒冷紗を張
って寒害を防ぐようにします。
畑があまり乾燥していると寒さ
の害を受けやすく、生育が悪くな
るので、タマネギ、エンドウ、ソ

ラマメは条間に堆肥、モミガラ、
イナワラなどを敷いたり、イナワ
ラで覆ったりして寒さと乾燥を防
ぎます。シュンキク、レタスなど
の軟弱野菜は、白の寒冷紗または
ビニールでトンネルをします。結
球白菜は外葉をワラで縛って、球
がはどけるのを防ぎます。

(二)2月まき野菜

二月になると、徐々に暖かくな

り、春まき野菜のは種シーズンと
なります。
●ホウレンソウ
この時期の品種としては、トウ
立ちの遅い洋種系のもを用いま
す。(黒葉ミンスターランド、キ
ングオブデンマーク)

酸性土壌に弱いので、中性の土
壌に厚まきにならないようは種し、
うすく覆土します。四月になれば
収穫できます。
●ニンジン(向陽五寸または三寸
系の洋ニンジン)
有機質の多いふつくらしした、耕
土の深い土地を選びます。畝幅六
十センチ二条まきとし、は種後はう

すく覆土します。本葉一―二枚と
五―六枚の時に間引き、同時に追
肥と土寄せを行います。
●ゴボウ
茎と根を食べる葉ゴボウが短期
間で収穫できます。(渡辺早生、
山田早生、柳川早生、越前白茎)

肥沃な排水のよい耕土の深い、
中性でネコブセンチュウの心配の
ない畑を選びます。二月中旬以降、
畝幅六十センチ、二条の条まきとし
ます。間引きは本葉一―二枚と、
三―四枚の時行い、三月末より葉
ゴボウとして食べられます。
●シュンキク(中葉新菊)
いや地現象を生じますので、連

作をさせ、畝幅一―二条の条ま
きとし、は種後からうすく覆土し
ます。
(三)野菜の貯蔵
●結球ハクサイ
厳寒期に入る前に、晴天の日に
外葉を二―三枚つけて収穫し、二
―三日陰干しし、新聞紙にくるみ、
床の下や土間などに切口を下にし
てならべておけば、二月―三月頃
まで貯蔵できます。
●ダイコン
収穫後に葉を切り、排水のよい
畑に溝を掘り、この溝にダイコン
を斜めにならべ、首まで土をかけ
ておきます。

【南国農業改良普及所】